

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和6年度 第3回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和6年12月20日(金) 午後2時00分開会 午後3時30分閉会
開 催 場 所	入間市庁舎 4階 大会議室
議 長 氏 名	齋木 茂
出席委員(者)氏名	菱さより 佐藤清美 齋木 茂 根岸 桜 西村めぐみ 齋藤勝久 村野裕子 吉野 勝 幸森康夫 田辺暁己 宮寫和子 白木賢信
欠席委員(者)氏名	飯寫一博 安藤龍嗣 長澤健次
説明者の職氏名	奥村社会教育課主幹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) 1 開 会 2 議長あいさつ 3 協議事項 (1) 公民館活動団体の減少について 4 報告事項 (1) 各委員からの活動報告 (2) 教育部社会教育担当各課からの報告 5 その他 ・次回会議の日程について 6 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0 人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	浅見教育部長、浅川社会教育課長、 津久井博物館主幹、平岡図書館長、 奥村社会教育課主幹、岩崎社会教育課主事、 大久保社会教育指導員、浅見社会教育指導員

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 協議事項

- (1) 公民館活動団体の減少について 事務局 奥村主幹より説明

2 報告事項

- (1) 各委員からの活動報告

- (2) 教育部社会教育担当課からの報告

①社会教育課

浅川社会教育課長

(i) 報告事項

- ・ 第29回いるま生涯学習フェスティバル
- ・ 第25回入間市美術協会 小品展 (絵画・彫刻)
- ・ 第39回入間市書道展 同時開催：入間市児童生徒書き初め展示会
- ・ 第24回入間市三曲連盟定期演奏会
- ・ 第39回入間市文化協会芸能発表会

②博物館

津久井博物館主幹

(i) 報告事項

- ・ 第28回「むかしのくらしと道具展」
- ・ 日光さる軍団 猿まわし公演 (指定管理者自主事業)
- ・ 文化財防火訓練

(ii) 配付資料

- ・ ニュースアリット 118号

③図書館

平岡図書館長

(i) 報告事項

- ・ 冬のおたのしみ会

(ii) 配付資料

- ・ 図書館だより 令和6年10月号

3 その他

- ・ 次回会議の日程について

第4回 令和7年3月7日 (金) 午後2時から
市庁舎 5階 全員協議会室

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
齋 木 議 長 奥 村 主 幹	協議事項(1) 公民館活動団体の減少について、事務局より説明を願う。 前回会議において、地域活動を支える人材の掘り起こし策について協議いただいた。資料2～3ページは、その時のグループ討議での意見をまとめたものである。 (資料に沿っておもな意見を説明) 今回は、「地域貢献のための生涯学習講座とは」をテーマに協議していただく。前回は地域活動を支える人材の発掘に焦点を当てたが、今回は講座に焦点を当て、どのような講座を開催すれば人材を集めることができるか考えていただく。ただし、講座に限らず、人づくり、地域づくりに関わる斬新なアイデアでも自由に発想していただきたい。今回の協議での意見を事務局でまとめ、第4回の会議で最終的なまとめとする予定である。
齋 木 議 長	何か質問はあるか。よろしいか。
奥 村 主 幹	では、グループ協議に移る。協議について事務局から説明を願う。 A～Cの3班で協議をお願いする。協議時間は35分で、その後、協議内容を2、3分で発表願う。
齋 木 議 長	それでは指定されたグループに入り協議を願う。 ～グループ協議(約35分)～
吉 野 委 員	A班だが、地域貢献のための講座というテーマだが、まず、公民館は入りにくい雰囲気がある。人材育成ということの前に、まず公民館に親しみを持ってもらわべきである。カフェなど、飲食できるものがよいのではないか。そこが居場所となつて、その先に、仲間ができて、グループができたりするのではないか。講座については、単発でなく複数回行えると仲間意識も生まれる。やるからには、行政が主導して公民館が力を入れてやった方がよい。具体的な講座では資格を取るような、例えば、防災士などの資格を取れる講座を開催して、資格を取得した人がサークル活動に取り組んだり、さらに、その人たちが講師になったりすることが考えられる、といった意見が出た。以上である。
白 木 委 員	B班は、まず、いるまの男塾について話した。大事なのは、やる気と居場所を育む場所をたくさんつくること、すぐに地域貢献とかではなく、仲間を作っていく場が大事である。その際、家族や孫を連れて参加できるとか、連続講座であっても全日参加しなくてもよいなどの参加しやすいやり方があるのではないか。具体的な学習テーマとしては、農園づくり、幼稚園、保育園職員による子育て講座、手話に関わる講座、キャリア教育、地域パトロールの方法など、あげればたくさんあるのではないか。また、学びの成果の発表や地域との共有の場があるとよいのではないか。イベント好きな人も多いので、そのためのフェスティバルなどを開催することで学ぶ人たちにも目標ができるのではないか、などの意見があった。以上である。
村 野 委 員	C班は、どうしたらリーダーとなるような人が集まるのかについて考えた。齋藤委員から具体的な例の話があった。上藤沢中学校では、茶畑の管理が難しくなっていることから、学校、地域、PTA、専門業者で話し合った。これに対して地域の方や専門業者の方が非常に前向きであったとのことである。このように地域の特産品を中心に人がつながっていくのは素適である。牧場、畑、お店など、地域ごとの魅力を発信できる講座がよいのではないか。講座の形は体験型の講座がよい、企画

発言者	発 言 内 容
	の段階から中高生や大学生といった若者に考えてもらえば、リーダーの育成につながる。例えば、ラーメン屋さんの食べ歩きとかを考えたら、自分たちで交渉して講座をつくりあげるのも楽しそうである。もう一つは、職業体験のテーマパークのように、消防署、警察署、交番、商店など、市内で仕事の体験ができると、地域を知ることができて地域貢献につながるのではないかと。そして、狭山茶と同じくらい魅力的な資源として自衛隊をあげた方がいた。市民では難しいかもしれないが、市としてなら活用できるのではないかと。最後に、イベントだけで終わらないように工夫することが必要ではないかと。例えば、スポーツなら垣根を低くして様々な人が参加できるようにして、参加した人がのちにサークル化するなど、自主的にやっていくことができるようにしていく、などである。以上である。
齋 木 議 長	各グループからの発表について、何か意見、質問等はあるか。なければ、協議事項を終わりにする。
	続いて、次第4の報告事項に移る。各委員からの活動報告について、報告する方は挙手を願う。報告は2分以内でまとめてお願いしたい。
吉 野 委 員	児童センターでは、今日の日曜日に入間向陽高校吹奏楽部によるクリスマスコンサートを行う。今年は部員数も46人と多く、迫力ある演奏をお聞きいただける。ぜひ、お越しいただきたい。
齋 木 議 長	他にあるか。
村 野 委 員	NPO法人AIKURUでは、8年前から乳幼児のいる保護者が学校を訪問するおやこde先生の未来教室を行っている。始めたときは1校だけだったのが、今年度、中学校全校で実施することができた。中学生に体験させたいからと抱っこひもを持っていくなど、乳幼児の父母が自分で考えて、伝えたいと思ったことを伝えていく。3学期に3校予定しており、興味のある方はお声掛けいただきたい。
齋 木 議 長	他にあるか。
田 辺 委 員	12月6日に向原中学校区の学校運営協議会で、こどもまんなか社会にむけて学校や地域、家庭ができることを話し合った。現状と課題を話し合う中で、扇町屋の地区センター長から報告があり、空いている部屋を利用して冬休みに自習室としたり、久保稲荷分館でも居場所づくりを行っている、とのことだった。
齋 木 議 長	他にあるか。
幸 森 委 員	地区センターの自治振興機能として、高齢者や子育て世代の居場所づくりについて、2月22日に交流会を扇町屋地区センターで行う。役所の課は違うが、居場所づくり、地域貢献になると考える。
齋 木 議 長	他にあるか。
齋 藤 委 員	ふじさわ未来ネットでは12の活動体があるが、高齢の男性の居場所がないということから、今年できたものに元気を出そうGGBsというものがある。男性高齢者を中心にものづくりに取り組んでいる。万燈まつりで竹あかりを250個ほど作り、真ん中に夢の字を置いて、のべ200人ほど人を集めた。もう一つ、未来の子どもたちへの夢プロジェクトで、去年は最後に報告をしたが、今年は今やっていることをエフエム茶笛（チャッピー）で放送している。12月は上藤沢中学校の生徒が出ている。毎週木曜日午後6時5分から15分放送している。1月は藤沢中学校、

発言者	発 言 内 容
齋 木 議 長 宮 寫 委 員	2月 は 日 々 輝 学 園 で あ る 。 ぜ ひ 、 聞 い て い た だ き た い 。 ま た 、 最 近 e ス ポ ー ツ が 世 の 中 で 騒 が れ て い る が 、 小 さ い 子 か ら 高 齢 者 ま で 参 加 で き る と い う こ と で 、 健 康 福 祉 セ ン タ ー ま つ り で 催 し を 計 画 し て い る 。 企 業 か ら 協 賛 も 受 け て 行 う 予 定 で あ る 。 他 に あ る か 。 文 芸 入 間 だ が 、 1 6 日 に 第 4 回 の 会 議 が あ り 、 4 7 号 の 初 校 が 戻 っ て き た 。 3 月 初 め こ ろ に は 完 成 予 定 で あ る 。 楽 し み に お 待 ち い た だ き た い 。
齋 木 議 長	他 に あ る か 。 な け れ ば 、 私 か ら だ が 、 先 ほ ど 自 衛 隊 に つ い て の 話 が あ っ た が 、 ス ポ ー ツ 協 会 で 、 来 年 3 月 の ク ロ ス カ ン ト リ ー 大 会 で 基 地 の 敷 地 の 一 部 を コ ー ス と し て 走 る と い う 計 画 が あ る 。 以 上 で あ る 。 で は 次 に 教 育 部 社 会 教 育 担 当 各 課 か ら 報 告 を 願 う 。
浅 川 課 長	第 2 9 回 い る ま 生 涯 学 習 フ ェ ス テ ィ バ ル を 1 2 月 1 日 に 開 催 し た 。 第 2 5 回 入 間 市 美 術 協 会 小 品 展 を 1 2 月 2 2 日 ま で 開 催 中 で あ る 。 第 3 9 回 入 間 市 書 道 展 、 第 2 4 回 入 間 市 三 曲 連 盟 定 期 演 奏 会 、 第 3 9 回 入 間 市 文 化 協 会 芸 能 発 表 会 も そ れ ぞ れ 特 徴 が あ り 、 書 道 展 で は 小 中 学 校 の 書 初 め 作 品 も 展 示 さ れ て い る 。 ぜ ひ 、 見 に 来 て い た だ き た い 。
津 久 井 博 物 館 主 幹	第 2 8 回 む か し の く ら し と 道 具 展 を 1 月 7 日 か ら 2 月 1 6 日 ま で 実 施 す る 。 小 学 校 3 年 生 社 会 科 の 授 業 に 対 応 し た も の で 、 市 内 小 学 校 全 校 の 他 、 瑞 穂 町 の 小 学 校 2 校 、 青 梅 市 の 小 学 校 1 校 も 来 館 予 定 で あ る 。 指 定 管 理 者 自 主 事 業 と し て 、 1 月 2 6 日 に 日 光 さ る 軍 団 の 猿 ま わ し 公 演 を 実 施 す る 。 文 化 財 防 火 訓 練 を 、 1 月 2 6 日 に 西 久 保 観 音 堂 を 会 場 に し て 、 初 期 消 火 講 習 会 、 初 期 消 火 訓 練 、 消 防 団 の 放 水 な ど を 行 う 。 ご 覧 い た だ き た い 。 ま た 、 配 布 資 料 ニ ュ ー ス ア リ ッ ト 1 1 8 号 に 催 し 物 の 案 内 も あ る の で お 読 み い た だ き た い 。
平 岡 館 長	1 2 月 に 子 ど も 向 け の 「 冬 の お 楽 し み 会 」 を 本 館 、 各 分 館 に お い て 開 催 す る 。 毎 週 行 っ て い る お 話 会 の 規 模 を 拡 大 し て 行 う も の で あ る 。 ま た 、 配 布 資 料 と し て 図 書 館 だ よ り 令 和 6 年 1 0 月 号 を お 配 り し た の で ご 一 読 願 う 。
齋 木 議 長	何 か 質 問 は あ る か 。 な け れ ば 、 こ れ を も っ て 報 告 事 項 を 終 了 す る 。 以 上 で 、 議 長 の 任 を 解 か せ て い た だ く 。 ご 協 力 に 感 謝 す る 。 以 下 、 余 白
議 事 の て ん 末 ・ 概 要 を 記 載 し 、 そ の 相 違 な き こ と を 証 す る た め こ こ に 署 名 す る 。 令 和 6 年 1 2 月 2 0 日 議 長 の 署 名 齋 木 茂	